

## 第 63 回(2020)関東大学空手道選手権大会

### < 監督会議: 大会取決め事項 >

開催日 令和2年10月4日

大会審判長 野崎 宏

- 帯(各大学で用意)は赤・青とする。<学連マークは必須>  
大学名・名前・全空連名は任意。流会派名は不可。
- ゼッケンは指が入らない様に四辺全て確実に縫い付けること。<飛び縫いNG>  
ゼッケンがない、初戦の際ゼッケンを上記の様にしない選手は出場を認めない。
- 安全具に不備のある選手は出場出来ない<拳サポーターは親指カバー付のものであること>
- セーフティーカップ未装着は判明次第即棄権。☆注意<棄権=今大会に出場出来ない>
- 形、組手共に競技中の選手は『気合い』を出してもかまわない。

#### <<コロナ対策共通事項>>※印:コロナ対策

- ※選手・監督・コーチ・審判・係員・役員等全てマスクを着用する。
- ※握手・ハグ等の接触行為は行わない。
- ※大声を出しての応援は控える。【拍手はOK】

#### <<形競技: 別紙競技方法あり>>※印:コロナ対策

- 女子第1ラウンドの競技方法が異なりますので、形競技方法の一番下※印確認下さい。
- 演武はマスク無しで行う。
- ※待機選手・終了選手は『マスクを着用』し、コートより離れた所定の場所で待つこと。
- ※形演武名はメンバー中1名が怒鳴らずに言うこと。
- ※決勝戦の分解は行わない。<接触が多い為、コロナ感染防止策>

#### <<組手競技>>※印:コロナ対策

- ※男子1部・2部分けずに行なう。<第62回大会の区分を凍結する>
- ※1分30秒間フルタイム6ポイント差、但し決勝戦のみ2分間フルタイム6ポイント差とする
- ※1回戦より勝敗が決定した時点で試合終了とする。【全選手戦わない】  
<得点は最高8ポイントまで加算される【大将戦前に9ポイント差以上の場合試合終了】>
- 10カウント成立でC1 負けした選手は、チームが勝ち進んでも以後の試合には出られない。
- ※口部分にシールドを取付けた『メンホー』を使用すること。【マウスピースは任意】  
<メンホー又は口部分シールドの購入希望大学は事務局まで申込み願います>
- ※メンホー着用試合の為、拳サポーターは親指カバーをすること>
- ※相手と拳サポータータッチ等の接触行為は行わない。
- 使った保護具は消毒を行い、次の回戦に使用する。【その都度消毒をしたものを使用】
- 監督席からの選手への声掛けは行わない。

#### <<運営上の注意事項>>: 密を回避する為に厳守をお願いします。

- 早くに来場せず、種目ごとの集合時間(後日連絡)にご来場ください。
- 種目が終わりましたら日本武道館から退館願います。
- 練習会場、更衣室は時間・場所指定しますので厳守をお願いします。

以上